

第1回大阪市北区地域支援連絡会議 会議要旨

- 1 開催日時 : 平成27年6月10日(金) 午後3時30分から午後5時30分まで
- 2 開催場所 : 北区役所 4階 402・403会議室
- 3 議題
 - (1) 北区地域福祉計画について
 - (2) 小地域福祉活動計画について
 - (3) C S Wの取り組み状況について
 - (4) よりそいサポートきたの取り組み状況について
 - (5) まちともサービスの現状と課題について

【地域福祉計画についての質疑応答】

Q : 地域福祉計画について、3年で見直す際の見直しの体制や、見直しの中身は？

A : 実務者会議である地域支援連絡会議、その親会議である地域福祉推進会議を充実させ、福祉活動計画を検証し見直していくのに3年程度を要する。

小地域福祉活動計画についても、今年度から3年をかけて19地域全地域で福祉活動計画策定予定。19地域のそれぞれの課題を、区全体の基本計画に反映させる必要がある。3年で見直し、4年目で地域の皆さんと具体的に意見交換を始める。

【C S Wについての質疑応答】

Q : 認知症の方、精神障がいの方の相談について、医療機関との関わりはどうか。

A : 認知症の方の相談についてはほとんどが地域包括センターと連携で行っており、C S Wと医療機関の直接の連携は今のところない。精神障がいの方の相談については医療機関との連携に加え、保健福祉センターのP S Wとの連携を行っている。

Q : 将来的な、医療機関との連携について方向性や計画性はどうか。

A : 認知症は地域で大きな問題になってきているが、4月に始まったばかりでケースを重ねておらず、医療機関とは連携ができていない。

個別ケースでの連携もあるので、将来的にはそれらを地域支援に移していく意味でも医療機関との連携は欠かせないものと考えている。

Q : 全くどこにも掛かっていない人からの相談件数、4月、5月実績はどうか。

A : 数は集計していないがC S Wもアウトリーチを実施。地域福祉コーディネーターが地域住民との連携の中で拾い上げてくるケースや、住民の方の見守りの繋がりからあがってくる情報も多い。

Q： 地域活動としての「連携」の意味合いは何か。窓口で専門機関に振ることが、コミュニティソーシャルワークの意味ではないと思うが。

A： 丁寧にその方のアセスメントをとった上で、必要な関係機関につなげている。つなぎ放しにはせず、その後の見守りが必要な場合はC S Wが対応する。

Q： 小地域福祉活動において全体を活性化させるという視点で、C S Wとしてどのようなとらえているか。

A： 小地域福祉活動計画においては、策定委員会の話し合いにC S Wも一緒に出席し、ファシリテーターとして参加している。地域の課題や意見、その地域がどのようにしていきたいかという思いをC S Wとして知っておくように努めている。

個別支援や情報収集が中心だが、地域の実態を把握したうえで個別支援を地域にどうつなげていくのかを視野に入れ対応する。

【座長による総括】

C S Wの活動の対象は、高齢者をはじめとし、生活困窮者や子育て中の若い世代まで広範囲に及ぶ。それぞれが制度の狭間の問題で対応しきれない場合や、C S Wだけでも解決できない問題もある。

地域の中で声に出てきていない潜在的なケースがまだまだたくさんあると思われる。相談窓口を整備するということは、狭間のニーズが浮き出てくる良いきっかけになるので、皆さんと北区で支え合うことができればと考えている。

今後の会議については、皆さんが議論できるような議題を提案し、形にするということで政策にも据え付けていきたいと思う。この会議を形だけの会議でないよう努めていきたいので、皆さまのご協力をよろしくお願いしたい。